

データヘルス計画

第2期計画書 中間見直し

最終更新日：令和3年03月31日

大京健康保険組合

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア	・加入者の平均年齢が上昇してきており、一人当たり医療費も上がってきている	➔	・加入者の健康増進を図るため保健事業を拡大していく ・医療費の削減を目指し加入者の意識を変えていく	✓
2	イ	・メタボ（肥満）の場合、検査数値が普通の人と比べて悪くなっている。男性の場合のそれはより顕著である。	➔	加入者の普段の意識改革や、特定保健指導等を通して改善をしていく。	✓
3	ウ	・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。	➔	・高血圧、糖尿病について、特定保健指導等を通し、これ以上増えないように指導していく。	✓
4	エ	・年々、高血圧症の加入者が増えてきている。	➔	・生活習慣病対策を課題としていく。	✓
5	オ	加入者の増加とともに特定保健指導対象者も増加。 ・但し、支援対象者は改善者もいるため一概には上がってはいない。 ・特定保健指導の実施後数値は改善している。	➔	・特定保健指導を拡大実施していく。 ・特定保健指導を生活習慣病関連の健診数値改善の中心施策として位置づけ実施していく。	✓
6	カ	・ジェネリック医薬品の利用率が70%を超えてきたが、まだまだ上昇の余地は残っている。	➔	・ジェネリックの利用促進策を実施する（リーフレットの配布、保険証シール）。 ・ジェネリック利用による負担減額の通知等発送。	✓
7	キ	・高血圧において高リスクであるにも関わらず医療機関未受診者が存在する。 ・一定数の高血圧症のリスク者が存在する。	➔	・医療機関への受診勧奨及び生活習慣改善・重症化予防の保健指導を実施する。	✓
8	ク	・高血糖において高リスクであるにも関わらず医療機関未受診者が存在する。 ・一定数の高血糖のリスク者が存在する	➔	・医療機関への受診勧奨及び生活習慣改善・重症化予防の保健指導を実施する。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者の大半が母体企業に所属。事業主の拠点が全国に点在。	➔	拠点が全国に点在しているため、何をやるにもタイムラグや非効率である。事業主と協働して施策を行ったり、ホームページ等で効率的に事業を行う。
2	平均年齢男性45.7歳、女性39.6歳。男女比は男性の比率が68.5%である。	➔	男女とも高齢化が進んでいる。
3	保健師、看護師が在籍している。	➔	本社地区には保健師、看護師等がいて、特定保健指導や健康相談を行っている。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定保健指導を多岐にわたり行っている。	➔	生活習慣病のリスク保有者・特定保健指導、40歳未満のメタボ対象者・保健指導、高血糖の対象者への重症化予防対策等行っているが、他にもあれば速やかに実施していきたい。

2 被扶養者の人間ドック受診率が低い
(被保険者95%、被扶養者70%)



未受診に対して（被保険者含む）リーフレット等を送り受診勧奨をする。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

生活習慣病の患者数の減少を目指し、特に医療費総額の高くリスクも高い「糖尿病」等の患者数を減少させ、重症化予防や医療費の総額を抑えることを目的とする。

事業全体の目標

高血糖等のリスク者に対して受診勧奨、保健指導等を積極的に行う。重症化予防及び医療費総額の減少にもつながっていく。人間ドック、健康診断の受診率を今まで以上に上げて、健診結果により、重症化予防や早期対策ができるようにする。
40歳未満の者に対しても、将来の対象者にならないように指導していく。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	イントラネット
保健指導宣伝	冊子の配付
保健指導宣伝	インターネットのホームページ

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定健康診査事業	人間ドック（被保険者）
特定健康診査事業	人間ドック（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	ICT活用による特定保健指導
保健指導宣伝	ジェネリック
疾病予防	健康相談
疾病予防	40歳未満保健指導
疾病予防	要医療の人へ個別に受診勧奨
疾病予防	糖尿病の恐れがあるのに未受診者への受診勧奨
疾病予防	ウォーキングアプリ
疾病予防	糖尿病治療中で中断者の確認
疾病予防	予防接種の実施
疾病予防	喫煙対策事業
予算措置なし	契約保養所
予算措置なし	スポーツクラブ法人契約

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	イントラネット	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	ア	-	保健事業等について積極的に発信、医療費通知の閲覧、ホームページへの連携で情報提供していく。	保健事業等について積極的に発信、医療費通知の閲覧、ホームページへの連携で情報提供していく。	保健事業等について積極的に発信	保健事業等について積極的に発信、医療費通知の閲覧、ホームページへの連携で情報提供していく。	保健事業等について積極的に発信、医療費通知の閲覧、ホームページへの連携で情報提供していく。	保健事業等について積極的に発信、医療費通知の閲覧、ホームページへの連携で情報提供していく。	保健事業等について積極的に発信していく。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	掲載(【実績値】30回 【目標値】平成30年度：40回 令和元年度：40回 令和2年度：40回 令和3年度：40回 令和4年度：40回 令和5年度：40回)情報発信、タイムリーな保健情報												情報提供と健康改善はリンクしない。(アウトカムは設定されていません)							
	2	既存	冊子の配付	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	保健に関する資料や、育児関係、保健指導(メタボ、健診の重要性)等のリーフレットや冊子を配布する	保健に関する資料や、育児関係、保健指導(メタボ、健診の重要性)等のリーフレットや冊子を配布する	保健に関する資料や、育児関係、保健指導(メタボ、健診の重要性)等のリーフレットや冊子を配布する	保健に関する資料や、育児関係、保健指導(メタボ、健診の重要性)等のリーフレットや冊子を配布する	保健に関する資料や、育児関係、保健指導(メタボ、健診の重要性)等のリーフレットや冊子を配布する	保健に関する資料や、育児関係、保健指導(メタボ、健診の重要性)等のリーフレットや冊子を配布する	資料を見ることにより、保健の理解、健康の重要性を理解してもらう	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	配布数(【実績値】20回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：20回 令和4年度：20回 令和5年度：20回)健康についての関心を高め、医療費の削減												配布の回数による医療費の削減額は割り出せない(アウトカムは設定されていません)							
2	既存	インターネットのホームページ	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	ス	-	保健事業で加入者が興味のあるような話題を、通常の案内以外にも掲載していくようにする。閲覧数、前年比1.1倍を目指す	保健事業で加入者が興味のあるような話題を、通常の案内以外にも掲載していくようにする。閲覧数、前年比1.1倍を目指す	保健事業で加入者が興味のあるような話題を、通常の案内以外にも掲載していくようにする。閲覧数、前年比1.1倍を目指す	保健事業で加入者が興味のあるような話題を、通常の案内以外にも掲載していくようにする。閲覧数、前年比1.1倍を目指す	保健事業で加入者が興味のあるような話題を、通常の案内以外にも掲載していくようにする。閲覧数、前年比1.1倍を目指す	保健事業で加入者が興味のあるような話題を、通常の案内以外にも掲載していくようにする。閲覧数、前年比1.1倍を目指す	保健事業で加入者が興味のあるような話題を、通常の案内以外にも掲載していくようにする。閲覧数、前年比1.1倍を目指す	加入者に興味あるような話題も掲載し、保健事業等を閲覧してもらうようにして、健康増進、医療費削減を目標とする。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
閲覧数(【実績値】35,000回 【目標値】平成30年度：15,000回 令和元年度：44,000回 令和2年度：48,400回 令和3年度：53,240回 令和4年度：58,564回 令和5年度：64,420回)-												閲覧数の結果のための(アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	基準該当者	1	シ	-	ア,コ	-	事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	休職者等を除きほぼ受診しているが、事業主と協働し100%の受診率を目指す	・メタボ(肥満)の場合、検査数値が普通の人と比べて悪くなっている。男性の場合のそれはより顕著である。 ・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。 ・年々、高血圧症の加入者が増えてきている。
	健診受診率(【実績値】96.8% 【目標値】平成30年度：97% 令和元年度：96.6% 令和2年度：96.9% 令和3年度：97.8% 令和4年度：97.9% 令和5年度：98.0%)休職者等を除く												受診率と改善率はリンクしないため(アウトカムは設定されていません)							
3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	シ	-	ア,コ	-	長期未受診者、新規取得者に対して、健診の重要性のリーフレット等を送り、受診勧奨をしていく。	長期未受診者、新規取得者に対して、健診の重要性のリーフレット等を送り、受診勧奨をしていく。	長期未受診者、新規取得者に対して、健診の重要性のリーフレット等を送り、受診勧奨をしていく。	長期未受診者、新規取得者に対して、健診の重要性のリーフレット等を送り、受診勧奨をしていく。	長期未受診者、新規取得者に対して、健診の重要性のリーフレット等を送り、受診勧奨をしていく。	長期未受診者、新規取得者に対して、健診の重要性のリーフレット等を送り、受診勧奨をしていく。	長期未受診者、新規取得者に対して、健診の重要性のリーフレット等を送り、受診勧奨をしていく。	最近はやや受診率が増えてきたが、まだ70%程度なので被保険者に追いつけるようにしていく	・メタボ(肥満)の場合、検査数値が普通の人と比べて悪くなっている。男性の場合のそれはより顕著である。 ・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。 ・年々、高血圧症の加入者が増えてきている。
受診率(【実績値】73% 【目標値】平成30年度：75% 令和元年度：73.4% 令和2年度：73.6% 令和3年度：76.5% 令和4年度：76.6% 令和5年度：76.8%)												受診率と改善率はリンクしない(アウトカムは設定されていません)								
3	既存	人間ドック(被保険者)	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ	-	ア,コ	-	基本項目の健保補助、基本に胃がん検査、オプションで前立腺がん検査と乳がん検査を健保負担とすることで早期発見を促す。また事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す。	基本項目の健保補助、基本に胃がん検査、オプションで前立腺がん検査と乳がん検査を健保負担とすることで早期発見を促す。また事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す	基本項目の健保補助、基本に胃がん検査、オプションで前立腺がん検査と乳がん検査を健保負担とすることで早期発見を促す。また事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す。	基本項目の健保補助、基本に胃がん検査、オプションで前立腺がん検査と乳がん検査を健保負担とすることで早期発見を促す。また事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す。	基本項目の健保補助、基本に胃がん検査、オプションで前立腺がん検査と乳がん検査を健保負担とすることで早期発見を促す。また事業主と協働し、長期未受診者に対しては受診勧奨し、受診率アップを目指す。	休職者等を除きほぼ受診しているが、事業主と協働し100%の受診率を目指す	・メタボ(肥満)の場合、検査数値が普通の人と比べて悪くなっている。男性の場合のそれはより顕著である。 ・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。 ・年々、高血圧症の加入者が増えてきている。	

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセ ス分 類	実施方法	注4) ストラ チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象 事業	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
案内発信率【実績値】100% 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%]-												受診率【実績値】30% 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：35% 令和4年度：40% 令和5年度：40%]-							
4	既存	糖尿病の恐れがあるのに未受診者への受診勧奨	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ,ク	-	イ,コ	-	保健指導から外れた者の内、数値の高い者を対象に郵便にて受診勧奨を行い、通院の実績や効果のない者に対して面談や電話で指導を行う	保健指導から外れた者の内、数値の高い者を対象に郵便にて受診勧奨を行い、通院の実績や効果のない者に対して面談や電話で指導を行う	保健指導から外れた者の内、数値の高い者を対象に郵便にて受診勧奨を行い、通院の実績や効果のない者に対して面談や電話で指導を行う	保健指導から外れた者の内、数値の高い者を対象に郵便にて受診勧奨を行い、通院の実績や効果のない者に対して面談や電話で指導を行う	保健指導から外れた者の内、数値の高い者を対象に郵便にて受診勧奨を行い、通院の実績や効果のない者に対して面談や電話で指導を行う	保健指導から外れた者の内、数値の高い者を対象に郵便にて受診勧奨を行い、通院の実績や効果のない者に対して面談や電話で指導を行う	早期の治療を促し糖尿病の重症化を予防する	・高血糖において高リスクであるにも関わらず医療機関未受診者が存在する。 ・一定数の高血糖のリスク者が存在する
未検診者【実績値】77人 【目標値】平成30年度：70人 令和元年度：60人 令和2年度：50人 令和3年度：40人 令和4年度：30人 令和5年度：20人)-												受診者【実績値】- 【目標値】平成30年度：10人 令和元年度：20人 令和2年度：30人 令和3年度：40人 令和4年度：50人 令和5年度：60人)-							
5	新規	ウオーキングアプリ	全て	男女	0～75	加入者全員	3	ア,ケ,シ	-	ア	-							家族も対象とし参加人数を増やしていく。	・加入者の平均年齢が上昇してきており、一人当たり医療費も上がってきている ・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。
参加人数【実績値】- 【目標値】平成30年度：-人 令和元年度：-人 令和2年度：-人 令和3年度：1,000人 令和4年度：1,500人 令和5年度：2,000人)-												参加人数と健康増進との因果関係は不明のため(アウトカムは設定されていません)							
4	既存	糖尿病治療中で中断者の確認	全て	男女	18～74	加入者全員	3	ス	-	ス	-			糖尿病治療中の人に治療が進んでいるか、中断していないかを確認し今後の対策に活かす。	糖尿病治療中の人に治療が進んでいるか、中断していないかを確認し今後の対策に活かす。	糖尿病治療中の人に治療が進んでいるか、中断していないかを確認し今後の対策に活かす。	治療の継続、再開をさせる。	・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。	
対象者に対する案内割合【実績値】100% 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												勧奨と重症化はリンクしていない。(アウトカムは設定されていません)							
3	既存	予防接種の実施	全て	男女	0～74	加入者全員	3	ス	1人2,000円を健保補助	ス	とりまとめ機関に委託			東京都総合組合保健施設振興協会に支払委託し、インフルエンザの予防接種を加入者全員2,000円の補助をし、重症化を防ぐ。	東京都総合組合保健施設振興協会に支払委託し、インフルエンザの予防接種を加入者全員2,000円の補助をし、重症化を防ぐ。	東京都総合組合保健施設振興協会に支払委託し、インフルエンザの予防接種を加入者全員2,000円の補助をし、重症化を防ぐ。	より多くの加入者に接種してもらい、医療費の削減及び事業主の生産性向上に繋げたい。	該当なし	
利用者【実績値】1,674人 【目標値】平成30年度：-人 令和元年度：-人 令和2年度：-人 令和3年度：2,200人 令和4年度：2,250人 令和5年度：2,300人)-												具体的な削減費用が確認できない(アウトカムは設定されていません)							
5	既存	喫煙対策事業	全て	男女	20～74	被保険者	3	シ,ス	外来禁煙補助	ス	月に一日、勤務時間中全面禁煙			禁煙宣言をし禁煙外来に通院して卒煙した社員に、1万円を上限に治療費を補助。事業主より紙巻きタバコ禁止、毎月22日をスワンスワンデーとし昼休み以外全面禁煙を発令。	禁煙宣言をし禁煙外来に通院して卒煙した社員に、1万円を上限に治療費を補助。事業主より紙巻きタバコ禁止、毎月22日をスワンスワンデーとし昼休み以外全面禁煙を発令。	禁煙宣言をし禁煙外来に通院して卒煙した社員に、1万円を上限に治療費を補助。事業主より紙巻きタバコ禁止、毎月22日をスワンスワンデーとし昼休み以外全面禁煙を発令。	本人および周囲の人の健康維持を図るとともに、勤務時間の離席を減らし生産性の向上を図る。	・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。	
禁煙達成者【実績値】7人 【目標値】平成30年度：-人 令和元年度：-人 令和2年度：-人 令和3年度：5人 令和4年度：4人 令和5年度：4人)-												禁煙による健康度が表せない(アウトカムは設定されていません)							
8	既存	契約保養所	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	ス	ス		ホームページを通して、ラフォーレ、四季倶楽部のキャンペーン等積極的に掲載し、利用者増加に努める	ホームページを通して、ラフォーレ、四季倶楽部のキャンペーン等積極的に掲載し、利用者増加に努める	ホームページを通して、ラフォーレ、四季倶楽部のキャンペーン等積極的に掲載し、利用者増加に努める	ホームページを通して、ラフォーレ、四季倶楽部のキャンペーン等積極的に掲載し、利用者増加に努める	ホームページを通して、ラフォーレ、四季倶楽部のキャンペーン等積極的に掲載し、利用者増加に努める	ホームページを通して、ラフォーレ、四季倶楽部のキャンペーン等積極的に掲載し、利用者増加に努める	加入者の福利厚生充実と、保養所を使うことによる心身のリフレッシュをめざす	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
利用者【実績値】296人 【目標値】平成30年度：300人 令和元年度：320人 令和2年度：340人 令和3年度：360人 令和4年度：380人 令和5年度：400人)-												アウトカムの判定のしようがないため、設定しない(アウトカムは設定されていません)							
5,8	既存	スポーツクラブ法人契約	全て	男女	18(上限なし)	加入者全員	1	ス	ス	ス		法人契約を締結したスポーツクラブに加入し、ホームページを通して、利用者に有利なキャンペーン等を発信し、利用者増加を目指す	ホームページを通して、利用者に有利なキャンペーン等を発信し、利用者増加を目指す	ホームページを通して、利用者に有利なキャンペーン等を発信し、利用者増加を目指す	ホームページを通して、利用者に有利なキャンペーン等を発信し、利用者増加を目指す	ホームページを通して、利用者に有利なキャンペーン等を発信し、利用者増加を目指す	ホームページを通して、利用者に有利なキャンペーン等を発信し、利用者増加を目指す	加入者の健康増進、心身のリフレッシュを目指す	・メタボ(肥満)の場合、検査数値が普通の人と比べて悪くなっている。男性の場合のそれはより顕著である。 ・生活習慣病の中でも、高血圧症、糖尿病の医療費総額が高く、年々増加している。
利用者【実績値】- 【目標値】平成30年度：100人 令和元年度：120人 令和2年度：140人 令和3年度：160人 令和4年度：180人 令和5年度：200人)-												スポーツクラブの利用者と健康増進との因果関係は不明のため(アウトカムは設定されていません)							

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など） オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他